下水道工事コスト縮減に関する新行動計画の体系

- (1)工事コストの低減
  - 工事の計画・設計等の見直しに関する施策
    - ①計画手法の見直し
      - ○下水道の広域共同化
      - ○下水汚泥とゴミの共同焼却
      - □事業の重点化・効率化、計画的な整備
      - □計画区域、計画水量設定方法の見直し
      - □他の汚水処理施設と連携した処理の推進
      - □下水道における集団整備事業の活用
      - □雨水貯留浸透施設による雨水対策の実施
      - □類似施設との共同管理汚泥処理等の検討
    - ②技術基準等の見直し
      - ◎マンホール設置・構造基準等の改定
      - ○小規模下水道水処理施設の標準化
      - ●道路埋設基準の見直し
      - □新技術・新工法に対応した技術基準等の見直し
    - ③設計方法の見直し
      - ○シールド工事の設計の見直し
      - ○電気・機器設備の仕様の見直し
      - ○プレハブオキシデーションディッチ法(POD法)の推進
      - □設計ＶＥの導入
      - □管きょ更生工法の採用
    - ④技術開発の推進
      - ○低コスト型下水道施設の開発
      - ○推進工事の長距離施工
      - ○シールド工事の長距離施工
      - □産学官が共同で行う技術開発への支援の充実
      - □合流式下水道の越流水による汚濁負荷等削減技術の開発
      - □既存施設での高度処理の効率化を可能とする技術の開発
    - ⑤積算の合理化
      - ○下水道工事の積算体系の統一・公開
      - □新土木工事積算体系への移行と新体系に沿った歩掛の編集
  - 工事発注の効率化等に関する施策
    - ⑥公共工事の平準化
      - □適正工期を確保するために債務負担行為等の積極的な活用
    - ⑦適切な発注ロットの設定
    - ⑧入札・契約制度の検討
      - ◎下水道設備工事における設計・施工一括発注方式（デザインビルド（ＤＢ）方式）の推進
    - ⑨諸手続の電子化等
      - □工事関係書類の簡素化・統一化
      - □電子情報の活用による工事監督業務の簡素化
      - □機器の製品検査等の簡素化
      - □機器の総合試運転の簡素化
  - 工事構成要素のコスト低減に関する施策
    - ⑩資材の生産・流通の合理化、効率化
    - ⑪資材調達の諸環境の整備
    - ⑫優良な労働力の確保
    - ⑬建設機械の有効利用
  - 工事実施段階での合理化・規制改革等に関する施策
    - ⑭労働安全対策
    - ⑮交通安全対策
    - ⑯環境対策
    - ⑰建設副産物対策
    - ⑱埋蔵文化財調査
    - ⑲消防基準・建築基準等
- (2)工事の時間的コストの低減
- (3)ライフサイクルコストの低減
  - ①施設の耐久性の向上
    - ◎下水道施設における腐食対策技術の採用
  - ②施設の省資源・省エネルギー化（運用、維持管理費の低減）
    - ◎光ファイバー網の整備による下水道維持管理の効率化
    - □処理場が持つ機器や発生するエネルギーの有効利用
  - ③環境と調和した施設への転換
    - □ライフサイクルアセスメント（ＬＣＡ）のよる最適技術選定手法の検討
    - □地球温暖化ガスの放出抑制
- (4)工事における社会的コストの低減
  - ①工事におけるリサイクルの推進
    - ◎下水道汚泥の資源化の推進及び下水道工事等における再生資源の積極的な活用
  - ②工事における環境改善
  - ③工事中の交通渋滞緩和対策
  - ④工事中の安全対策
- (5)工事の効率性による長期的コストの低減
  - ①工事における規制改革
    - □技術基準類の性能規定化の検討
  - ②工事情報の電子化
  - ③工事における新技術の活用

注）◎は新行動計画に記載した、下水道事業に関する検討項目（新規）
○は新行動計画に記載した、下水道事業に関する検討項目（継続）
●は新行動計画に記載した、下水道事業に関する項目（平成12年度以降の取り組みはないが、コスト縮減計上対象）
□は新行動計画に記載した以外の下水道事業の検討項目